



江府町報

11月号

発行者
鳥取県江府町
電話 江尾(代) 2211
編集 総務課
印刷 (有)富士印刷

江府町の人口 (10月31日現在)

世帯数	1,332	世帯	
人口	5,091	人	
(前月比)	5	人減	
(男)	2,464		
(女)	2,627		
出生	6		
(男)	0		
(女)	6		
転入	9		
(男)	4		
(女)	5		
転出	15		
(男)	10		
(女)	5		
死亡	3		
(男)	3		
(女)	0		

第166号

白ネギ出荷最盛期

ナベ物が恋しいシーズンに入り、町内の美用地区はじめ十一地区では、白ネギの取り入れに追われています。今年は、豊作貧乏に泣いた昨年比べてこのところ価格を維持していますが、出荷目標の二四トより落ち込みが予想されるため、栽培農家ではこれから冷え込みとともに需要が伸び、高値を呼ぶのを期待しています。

町農協のまとめでは、十一月中旬までに総出荷量の十二割が出荷されました。出荷は十二月上旬まで続きますが、ナベ物の材料として需要の増えるこれから出荷の最盛期となります。

▲白ネギの出荷におおわらわ

おめでとろ30歳

盛大に記念式典

式 辞

江府町長 井上健治

昭和二十八年六月江府町が発足してから三十年、時代の進展とともに躍進をつづけてきた江府町を祝う、発足三十周年記念式典が、十一月五日、町立総合体育館に来賓多数を迎えて盛大に行われました。また、十月末に完成しました町立総合体育館の竣工と、今春までに計画を達成しました公営森林造成二〇〇〇畝達成も併せて祝いました。

記念式典は、午前十時三十分から開かれました。鳥取県知事代理として西尾邑次副知事ら来賓をはじめ町内外の関係者約五〇〇人が出席。加藤助役から発足三十年間の町政のあゆみ、運動公園工事概要、公営森林造成一、〇〇〇畝達成の報告がされたあと、井上町長の式辞（別掲）がありました。また席上、自治、産業、教育、社会など各部門で功労のあった人たち一三八、二〇〇団体にそれぞれ表彰状及び感謝状が贈られました。このあと、



式辞を述べる井上町長

本日ここに本町発足三十周年記念の式典を挙げるに当りまして、来賓各位の御臨席をいただき、町内各機関、地域、職域、団体の代表者各位の御参列の下に本式典を挙げる事の出来ますことを誠に有難く厚く感謝申し上げますところでございます。

本日この式典につきましては、御案内申し上げておりますように、この式典に併せまして三十年周年記念事業として一昨年来事業を進めてまいりました町立スポーツ公園造成事業中総合体育館の竣工式並びに、本町が二十数年來継続して実施してまいりました、公有地造林事業が本年一、〇〇〇畝を突破いたしましたので、この達成を併せて行わせていただきたく存じますので、甚だ失礼ながら何卒よろしくお願い申し上げます。

本町は、昭和二十八年六月一日当時の旧町村米沢、江尾、神奈川の三か町村を合併し、続いて日光村の一部と統合し今日の行政区域の態勢を完成したものであります。

総面積一二五平方畝、合併時の住民人口七、五〇〇人の新町として誕生した訳であります。自來新町の建設計画を立て、全町一致協力して町政振興に努力して来た次第であります。

その間、国、県関係御当局を始め各界要路におかれましては、本町の建設計画の諸事業を始め行政各般に涉りまして、又、地域経済、産業、社会など各分野に対し格別の御高配と御指導を賜りまして有難く厚く御礼を申し上げます。又、県内市町村訳けても西部市町村御当局におかれましては、常に友情深い御厚誼を賜り、又、格別の御指導と御援助をいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、町内に在りましては、新町発足以来、自治、産業の振興に社会開発に御苦勞下さいました各機関団体、歴代の諸先輩を始め全町の皆様の総親和総努力により町政は支えられ育てられて今日に至りましたことを思い、ここに深甚の敬意と感謝を捧げるものでございます。

思えば本町合併発足の昭和二十八年より以降三十年の時代の推移は、経済も産業も国民生活も激動変革の時代を経てまいりました。それは、当然に町村の行政におきましても社会の推移と共に、あるいは成長し、あるいは逼迫し、大いなる曲折

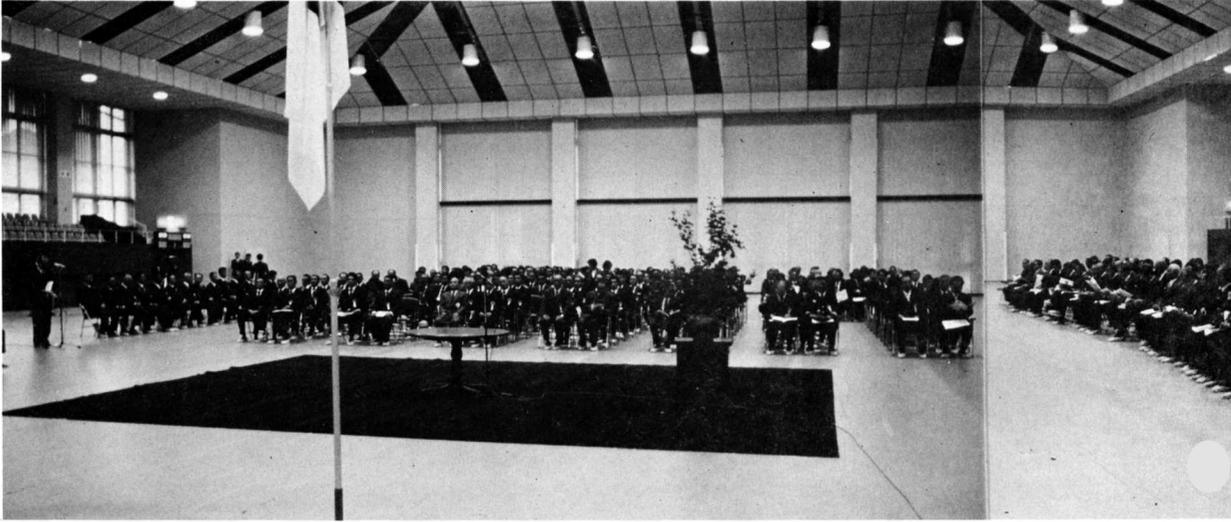
革を遂げてまいりました。今や世界経済は石油問題を軸に経済の基準条件の急変に遭い、国も地方も行政も産業も国民生活も総見直しの時代に入っております。この秋に当りまして本町は、発足三十周年を迎えました。

吾々は、今こそ吾が身の厳しい見直しを行うべき秋かと存じております。

吾々は、本町三十年の経過を反省し、実績を守り体験を生かしこれからの険しい時代に処して着実第一に対処し、希望と活力ある友情の社会を目指したいものと、念願いたしておるところでございます。

私は、本日の三十周年の式典に当りまして、本町表彰条例に基づき、表彰審議会の決議を体し自治、産業の振興に住民社会の発展に貢献せられました功労者各位の御功績に対し、表彰状、感謝状を贈り、全町民の敬意をお伝え申し上げたく存じております。又、本日の式典に当りましてかねて三十年記念事業として事業を進めて来ております町立スポーツ公園事業中総合体育館の完成をみましたので、本日は、その竣工式を併せて行わせていただきたく存じます。

このスポーツ公園の建設に当りましては、土地所有者の皆様がそれぞれ御事情のございますのに曲げて全員の方が町の御無理を御聞き届け下さいまして、全用地の譲渡提供をいただき、御蔭様でこの事業を施工する事



▲町立総合体育館で盛大に行われた町発足30周年記念、町立総合体育館竣工並びに公営森林造成1,000畝達成合同式典

ができました。私は、この機会に厚く感謝の意を表し御礼を申し上げる次第でございます。

この工事を起こすに当りましては、グラウンド及び体育館共にその設計監理を中電技術コンサルタント株式会社依頼し、施工につきましては、指名競争入札の結果、株式会社奥村組にお願いする事となりました。工事は、設計監理を担当の中電技術コンサルタント当局の高度の技術と綿密周到な設計上の要求に対し奥村組の機械装備と技術施工の実力は、完全に是に答え、殊に両社の責任の完全遂行の気迫は常に工事現場に横溢し、安全にして確実の工程は着実に進行し、工事はこの様に見事に完成いたしました。本町にとりましては、良き両社を得て幸せであったと深く感謝致しておるところでございます。有難うございました。

完成いたしましたこの体育館そしてスポーツ公園は、自然環境を守り多様な機能を更に充実してこののち永く全町民の施設として最大の活用がなされ、又広域のスポーツ交流の場として公開し、実技の練成向上と社会体育の振興に資したく念願いたしております。

殊に、この施設が町民の日常生活に結びついた町民サロンともなり、地域社会交流の場としても発展し、山村文化創造の拠点となりますよう念願するところであります。

本日は更に併せて江府町公有地造林一、〇〇〇畝達成の式典を加えさせていただくこととしたしております。

本町は、合併によりまして総面積一二、五〇〇畝であります。その内林野面積は一、〇〇〇畝を越える土地条件にありますので、合併以来森林造成に意を注いで来たところでありますが、昭和三十七年江府町公有地森林造成計画を策定いたしました。町有地、財産区有地四、〇〇〇畝を対象として年々継続して造林事業を実施してまいりました。すなわち、町行直営を以て事業を進め更に公団造林、県公社造林の制度による契約事業も導入し、造林を進めて来ましたところ本年は三十周年の記念すべき年に当りまして、公有地造林一、〇〇〇畝を突破いたしましたので、ここに達成式を同時に開かせていただいた次第であります。

今後は、この一、〇〇〇畝の公有地造林の撫育管理に特に留意しながら造林は続けなければなりません。又、民有林造成につきましても昭和三十七年の計画策定以降新植、再生分として一、〇〇〇畝の事業の遂行がなされ、既成造林に更に厚味を重ね得たことは御慶に耐えません。

この間、ご苦労下さいました森林組合を始め林業経営の皆様、又、林業作業班の皆様に対し深く敬意を表する次第でございます。私は、ここに本町公有林、民有林造成推進について県御当

局、森林開発公団御当局、県造林公社御当局の多年の御高配に対し深甚の感謝を捧げる次第であります。私は、公有林、民有林共に各々一、〇〇〇畝歩遂行の二十年を振り返り、各集落の皆さんが森林造成計画推進に理解と協力を与えられ、進んで使用権附与地を提供し、更に施業に従事し特に造林作業を組織し挺身造林作業に従事していただき着々として計画推進の力となっていたいただきましたことに對し、ここに深く敬意を表し、厚く感謝申し上げます。

この様にして今後におきましても極めて自然に無理の無い造林を山国に住む住民の自由意志の発露によって育ててまいりたいものと念願しております。

今林業低迷の今日的世潮に戸惑うことなく、折柄水源かん養の時代的要請にも自負する山村永住の夢のある人生観を森林造成と共に育ててまいりたいものと念願いたしております。何卒関係各位の今後共変らぬ御指導を切にお願い申し上げます。

以上は、誠に失礼ながら手前勝手に盛りたくさんの式典を開かせていただきまして、ご挨拶を申し上げた次第でございます。本日は、御臨席下さいました御来賓の皆様を始め御来会下さいました皆様に対しまして、重ねて厚く御礼を申し上げます。御挨拶と致します。

町政30年の発展に寄与

表彰をうけられた133人



▶記念牌は般若純一郎先生の卓越せる彫金のデザインにより製作されたもので、図柄は海獣葡萄鏡です

表彰状及び感謝状の受賞をされた方々は、次のみなさんです。
(敬称略)

〔町表彰条例に基づく表彰〕

自治功勞

- 井上一 加藤信夫 下村矛雄
- 中田博 田口茂 細田和三
- 芦立喜明 岡田昭一 森 正幸
- 遠藤 功 岡田雄成 竹内敏朗

- 藤原昭仁 太田 厚 佐伯良人
- 上原裕臣 佐伯晴代 森 文雄
- 伊達源藏

産業功勞

- 佐藤秋寛 影山一亮 真田良一

〔町発足30周年記念感謝状〕

自治功勞

- 手島 祐 三好恭祐 岡田竹男
- 砂口鶴寿 加藤清俊 遠藤康三
- 生田正治



▲井上町長から各部門の代表者に表彰状及び感謝状が手渡されました

産業功勞

- 田中正明 徳岡喜幸 入江正太郎

教育功勞

- 川崎 仁

社会功勞

- 下尾千鶴子

団 体

- 森林組合 農業協同組合 商工会 御机大根生産組合 下蚊屋大根生産組合 下蚊屋牧野組合

〔町立総合体育館建設工事関係感謝状〕

建設関係

- 中電技術コンサルタント株式会社 取締役社長 鈴紀喜久
- 株式会社 奥村組広島支店 専務取締役社長 秋山修造
- 株式会社 奥村組広島支店 江府事業所長 車谷達雄
- 町民運動公園土地提供者
- 影山與一 影山儂喜 影山文夫
- 浦部徹雄 浦部平代 影山清明
- 影山 一 三好泰三 佐々木博子
- 影山虎巖 浦部西郎 影山千枝子
- 佐々木博行 影山一 影山泰時
- 佐々木満 生田梅芳 竹内花枝
- 竹内 登 竹内 薫 竹内 晋
- 杉原覺雄 水下隆義 水下 博
- 高野キヌコ 竹内 勇 杉原かつこ

〔町発足30周年記念勤続表彰〕

- 岡本一雄 中田和臣 池本正則
- 小笠原繁義 浜田久寿 森田添美
- 梅田 馨 樋口保夫 大田明弘
- 竹内 晋 川上卓雄 加藤克己
- 河上 収 藤原克己 日野尾千紘
- 生田嘉美 井竹和博 梅林亮一
- 宮本勲寛 松原 寛 相見 稔
- 真壁和博 河本昊道 生田 功
- 末次肇雄 末次理治 新見俊明
- 下村武美 福田正臣 田中金明
- 佐々木正 森谷博昭 宮本雅昭
- 岡田良一 仲嶋勝利 板井 久
- 船越照明 大塚和子 富谷巴子
- 小田 隆 藤原 要 浦部 統
- 末次雅雄 松原良枝 谷口歌子
- 井上俱子 橘谷郁子

〔公営森林造成一、〇〇〇畝達成記念感謝状〕

- 米沢財産区 御机区 池の内区
- 久連区 下安井区 洲河崎区
- 大字武庫区 武庫一旦連合区
- 貝田造林作業班 柿原造林作業班
- 助沢造林作業班 池の内造林作業班
- 久連造林作業班 川筋造林作業班

〔特別感謝状〕

- 中国電力株式会社
- 取締役社長 松谷健一郎
- 中電技術コンサルタント株式会社
- 取締役社長 鈴紀 喜久

お し ら せ

あなたも1冊
県民手帳を販売中

58年度版の鳥取県民手帳を区長さんに取りまとめていただき配布を完了しましたが、まだ余部がありますので、希望の方は、町役場総務課へおい出下さい。

県民手帳は、各種統計資料と日常生活に役立つ便覧、便利で使いやすい日記式手帳になっています。代金は、1冊270円です。

作業停電のお知らせ

- 12月22日(水)
13時30分～16時30分
(区域)尾上原・日の詰
深山口
- 12月24日(金)
13時～16時
(区域)旧米沢・大万
袋原



年末の交通安全県民運動
12月22日から12月31日まで
運動スローガン
・事故を呼ぶ酒は飲むまい 飲まずまい
・事故防止 町から村から家庭から

みんなそろって明るいお正月を

＝ 歳末たすけあい運動 ＝

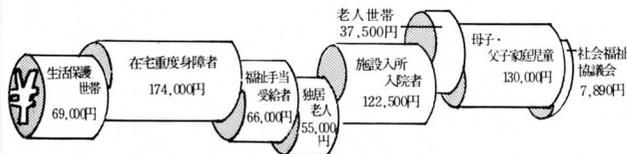
今年も12月1日から「歳末たすけあい運動」が始まります。

歳末たすけあい運動によって集められた善意の寄付金は、施設に入っている町出身者や寝たきり老人、母子家庭等の方々が、明るく楽しいお正月

を迎えられるよう、正月支度金、越年資金などとして有効に活用します。

昨年集まった善意の寄付金は 661,890円で、下表のように使われました。

今年もご協力をお願いします。



1日が2,909円
県の最低賃金

鳥取県下の全事業所の使用者と労働者に適用される「鳥取県最低賃金」と「産業別最低賃金」が下表のとおり決められています。

これらの最低賃金は、最低賃金法に基づいて決定したもので、使用者は、この最低賃金額より低い賃金で労働者を使用すると、法律違反となりますので注意してください。

最低賃金決定件名	最低賃金額	実施年月日
鳥取県最低賃金	時間給労働者 1日 2,909円(1時間364円)	57.10.2
産 業 別	食料品製造業 軽作業者 1日 3,370円(〃 422円) 1日 3,170円(〃 397円)	57.11.18
	繊維産業 1日 3,155円(〃 395円)	57.11.18
最 低 賃 金	卸売業・小売業 卸売業1日3,380円(〃423円) 小売業1日3,170円(〃397円)	57.11.18
	木材・木製品 ・家具・装備 品製造業 軽作業者 1日 3,440円(〃 430円) 1日 3,200円(〃 400円)	57.12.12
賃 金	パルプ・紙・紙加工品製造業 軽作業者 1日 3,430円(〃 429円) 1日 3,273円(〃 410円)	57.12.12
	出版・印刷・同関連産業 1日 3,374円(〃 422円)	57.12.12
賃 金	窯業・土石製品製造業 1日 3,553円(〃 445円)	57.12.12
	機械・金属製品等製造業及び自動車整備業 軽作業者 1日 3,509円(〃 439円) 1日 3,247円(〃 406円)	57.12.12

(注) 最低賃金額には、次の賃金は算入されません。

- (1)精皆動手当、通動手当、家族手当(2臨時に支払われる賃金)
- (3)1か月をこえる期間ごとに支払われる賃金
- (4)時間外・休日労働賃金

30 29 28 27 25 23 22 21 20 19 18 16 15 14 13 12 10 9 8 5 4 2 1
日 日 日 日 ~ 日
(土)(金)(木)(水)(月)(土)(金)(木)(水)(火)(月)(土)(金)(木)(水)(火)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)(日)

農協役員会運営理事会(米子) 在勤
農協 在勤
献穀皇居賢所参内(東京) 在勤
町表彰審議会 在勤
臨時町議会 在勤
農業用ダム検討会 在勤
中四国治水大会(米子) 在勤
武庫大区役員来庁、建設事業入札 在勤
西部広域正副管理者会(米子) 在勤
総会(米子) 在勤
献穀田拔穂式、県町村会 在勤
三十周年記念町民体育大会 在勤
農振事業入札 在勤
会(高岡市) 在勤
全国自然休養村現地研究会 在勤
会(根雨) 在勤
庁内会、郡農業振興協議会(根雨) 在勤
在勤
広島出張 在勤
* 10月 誌

町 長 日

わ
だ
い

カネボウチーム来町

町立総合体育館 “こけら落とし”

十一月七日、日本バレーリーグのカネボウチーム一五人が、町立総合体育館完成“こけら落とし”として来町し、バレー教室、公開練習、模範試合を町民に披露しました。



▲来町したカネボウチーム15人



▲バレー教室で模範練習を熱心に見入る受講生

応急手当の知識



やけど

わたしたちの周りはやけどの危険でいっぱいです。特に冬場は火を使う機会が増え、やけどをすることが多くなります。十分注意しましょう。

(やけどの手当て)

もしやけどをしてしまったら落ち着いて次の手当を。

•まず、やけどの部分の水で冷やしましょう。洗面器などにためた水にひたしたり、蛇口から流れる水で冷やします。ただし蛇口の水を使うときは直接やけどの部分に当てず、一度やけどの近くにかけて水を伝わらせます。水の勢いで皮膚が破れることもあるからです。

服の上から湯を浴びたようなときは、そのまま水をかけて冷やしましょう。やけどの部分を出そうとシャツをまくり上げたり、無理に服を脱がすと、熱で弱くなった皮膚がむけたり、水泡ががつぶれたりします。

•ガーゼなどで保護を
痛みがなくなるまで冷やしたら、ガーゼやケバ立たない布を当てて保護します。

服の上からのやけどでは、皮膚に刺激を与えないよう、シャツやズボンは切りさいてやけどの個所を出します。

やけどに、化粧の服やビニールなどが溶けてこびりついているときは、はがさずに、その上からガーゼを当てます。

この日は、厳しい練習にも歯をくいしばる彼女たちで完成した体育館は“カン”高い声が響く。苦しそうな顔、したたる汗、なおも球にくいつく姿はまさに魔女そのものでした。また、バレー教室は、小、中学生、婦人、

一般ら約一五〇人が参加し、サーブ、スパイク、ブロッキングの練習方法など実技指導を受けました。

バレー教室後主将の真方さんにお話を聞くと「身長一八一センチ、体重七四キログラム。練習は厳しいけれど、勝った時にバレーをやっているよかったです」と話してくれました。また、上野監督に聞くと「すべてに基礎が大切で、このいい自然環境を利用して基礎訓練に励んでほしい。自分に厳しく、攻めに徹せよ」と話してくれました。



国民年金

年金受給額が

三億百二十五万円

昭和五十六年度中に本町の受給者に支払われた国民年金の額は、拠出年金一億九千八百四十三万円、福祉年金一億二千八百二十二万円、総額三億百二十五万円でした。

左表は、右の年金を内訳別にしたものですが、拠出年金の受給者六百五十

晴れの受章



砂口さんに
藍綬褒章

昭和57年秋の叙勲で、吉原の砂口鶴壽さん（79歳）が自治功労者として藍綬褒章を受けられました。

砂口さんは、昭和34年に町選挙管理委員会委員長に就任以来、今日まで選挙の管理執行及び公明選挙運動等を通じて地域社会に貢献。さらに県明るい選挙推進協議会副会長として選挙啓発に努められたものです。

文化の香りいっぱい

町文化祭

十一月一日から十一月七日までにぎやかに町の文化祭が催されました。今年も、町発足三十周年記念とし、町三十年思い出の写真展、町農協協賛の農協資料展、農産物即売会などそれぞれ趣向をこらした催し物がいっぱい、各会場とも多くの町民でにぎわいました。



▲明徳学園生の作品



▲献花を行う遺族たち

十一月十二日、土井之内会館で、国難に殉じられた英霊三〇三柱の冥福を祈る戦没者殉職者の追悼式が、来賓、遺族ら二二〇人が参列して厳粛に営まれました。
また、式終了後、遺族の方々は、アトラクションで楽しいひとときを過ごしました。

厳かに町慰霊祭



▲児童生徒の作品展



77.9%	老齢福祉年金 895件 80,043,846円	福祉年金 1,073件 102,817,294円	拠出年金 659件 198,432,800円	老齢年金 472件 134,337,700円	67.7%
	22.1%	障害福祉年金 178件 22,773,448円		障害年金 42件 25,819,000円 5年年金 77件 22,514,800円 母子年金13件 9,405,100円	

通算老齢年金
53件
5,642,500円 2.8%
遺児年金
1件
540,700円 0.3%
か婦年金
1件
173,000円 0.1%

九人は、福祉年金を受取る人三百十五人に対して三百四十四人も多く、金額的にも「老後の所得保障」にふさわしい額となっています。

ふるさと地名考 ③

宮市

宮市の宮は、いうまでもなく神社で、今の宮市神社、かつての若一王子のことであろう。若一王子は、紀州熊野神社の摂社中第一位の王子(神)で、これをこの地に勧請したものである。その神社を中心に市が立ち、周辺の村人がこの地に集まった。神社はこの地の豪族の進地や、江尾城主蜂塚氏の崇敬を受けたし、宮市は、江尾や武庫など一二箇村からなる「宮市庄」の中心でもあった。

「沢」は山間の溪谷をいう。この村も、古い時代には助谷といっていた、同じ意味の地名である。「すけ」は、助の文字があてられているが、恐らく当て字で、しかも「すけ」(助・鮭・次官・典侍・出家)ではなく、「すげ」(笹)の転じたものであろう。すげの自生する谷間という地名である。笹はその種類が多く、夏これを刈って、みや笠を作る。日野郡の名産である。

下蚊屋

蚊屋の字が使ってあるけれど

も、じつは草の「かや」である。郡内に、草木の名を地名としている例は少なくない。「すげ」から出たと思われる上管・下管があり、古くは中管もあった。榎市・下榎は「えのき」を地名としたもので、上榎もあつたにちがいないが、今はない。あるいは榎木が上榎に当たるのかも知れない。

下蚊屋の「下」は「さがり」で「しも」とは読まないから、「上蚊屋」はない。山腹に生い茂るかやの穂がたれさがるさまを表わしているのであろう。溝口町の焼杉(やけすぎ)と同工の命名である。

日野の山地には、かやが多く民家の屋根も、かやでふくのが普通であった。現在もかやぶきの家が圧倒的に多く、それが日野の風物詩にもなっている。下蚊屋は、江尾から作州真庭郡に越える峠にほど近い山村で『伯耆志』に、産土神は山の神であったというの、いかにも山村らしく、村名もこの村にまことにふさわしい。

(江府町史から)

人の動き (十月届)

◎お誕生おめでとう

- 本四 福羅三千子 修二 長女
- 新一 住田 惠美 正人 長女
- 本五 川端ゆかり 一正 長女
- 本一 上原真知子 大介 三女
- 新一 矢野 結子 博司 三女
- 尾上原 舟越 幸恵 伊平夫 二女

◎ご結婚を祝します

- 新見 仁 吉原
- 井上千佳子 米子市東福原から
- 谷口 祐之 美用
- 船山真理子 大阪府岸和田市から
- 相見 克明 溝口栃原
- 大田 澄枝 吉原から

◎こめい福を祈ります

- 佐川 本田利夫 51歳 三智雄宅
- 日の詰 中尾教恩 63歳 幹雄宅
- 新一 南波昌憲 60歳 昌憲宅

- 若林 一成 米子市蚊屋
- 官能早百合 江尾から
- 加藤 保 武庫
- 中西 順子 大阪府東大阪市から
- 中田 末徳 長崎県南松浦郡
- 西村 恵 江尾から
- 福田 導夫 下安井から
- 浅田 和枝 群馬県前橋市
- 山内 邦男 島根県大田市
- 川端智恵子 江尾から
- 高橋 八郎 日野町黒坂
- 野坂 和子 江尾から

ありがとう

いぎいしました (十月中寄託分)

善意銀行受払報告

- 香典返しとして
- 本五 原 豊殿 (母春江様ご逝去)
- 栗尾 末次 堅殿 (母よし子様ご逝去)
- 池内 南波うるわ殿 (弟昌憲様ご逝去)
- 内祝として
- 佐川 清水 寿男殿(ご本人様退院)
- 池の内 南波九美生殿(ご本人様退院)
- 新二 荒金 弘子殿(ご本人様退院)
- 下蚊屋 川上 春子殿(ご本人様退院)
- 佐川 下村 磯治殿(ご本人様退院)
- 柿原 加藤 澄枝殿(ご本人様退院)
- 栗尾 新山 光殿(ご本人様退院)
- 袋原 藤原 和寛殿(ご男婿雄様退院)
- 小原 川上 新一殿(長女仁美様退院)
- 本四 末次 候枝殿(ご本人様退院)
- 本五 川端 智恵殿(ご本人様退院)
- 吉原 砂口 満枝殿(ご本人様退院)
- 佐川 清水 直美殿(ご本人様退院)

以上、社会福祉事業にご寄付いただきました。厚く御礼申し上げます。 江府町社会福祉協議会

1. 九月末累計額	七百七十六万三千七百二十円
2. 十月中寄付額	十五万六千円
内 訳	
香典返し	二万五千元
快気祝	十三万一千円
3. 十月末累計額	百九十二万九千七百二十円